

市政の窓



No.50

師走の総選挙

前回に続いて師走の総選挙突入です。2年前は、国会議員の残任期間の関係で、ある程度予想されておりましたが、今回は唐突で、多くの議員も想定外の解散ではなかったでしょうか。近年はマニフェスト選挙といわれ、前はマニフェスト不達成の下で審判が下り、今回はマニフェスト変更について信を問うとのこと。定数削減や一票の格差是正など課題

は残っていますが、消費税増税の先送りは、与野党はおろか国民の総意としても同感であろうと思います。ではなぜ大義のない解散総選挙なのか？与党の長期政権の思惑もあるでしょうし、議員は常に戦場であり、いつ選挙になってもという心構えを持っているものと思います。直近2回の総選挙ではいずれも政権交代という選挙結果を思うとき、今回は特に注目しているのですが、年の瀬選挙のため、低い投票率を懸念するところであります。市民の皆さんは市議会議員選挙直後、政治に市政運営にと大いに関心を持たれていることと思います。師走ではあります。投票所へ足を運ばれますことを期待いたします。また、本市の新議員による12月定例議会が5日に開会され、一般質問は17日、18日に予定されております。議場での傍聴やインターネットなどをご利用の上、市政に参加くださいますようお願いいたします。

匝瑳市長 太田安規

図書館だより



休館日…4日(木)、毎週月曜日
 年末年始休館日…28日(日)～5日(月)
 祝日開館日…23日(火)

◆企画展示にご注目

図書館入口正面に本を展示しているのをご存じですか？ここでは季節ごとにテーマを決め、本を展示しています。

12月は「クリスマス特集」。クリスマスケーキやリース作り関連の本をそろえています。いろいろ手作りしてすてきなクリスマスをお過ごしはいかがですか。

企画展示は毎月変わりますので、何を讀もうかお悩みの人は、ぜひ、参考にしてください。

◆冬のおはなしを楽しむ会

大型絵本やパネルシアターなどで、楽しく過ごしましょう。参加は無料です。

日時…6日(土) 14時～14時45分

場所…八日市場図書館2階 集会室

対象…1人で静かにお話を聞ける児童
 (4歳～小学校3年生くらい)

◆おはなし会(八日市場図書館)

日時…毎週土曜日(6日を除く) 14時～

☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

◆ドリームキッズ(のさか図書館)

クリスマス会を行います。

日時…20日(土) 10時30分～

☎若林 ☎67-5965

文芸コーナー

短歌

小泉 泰清 推薦

朝まだきに起き立ち眺む朝顔の紫紺の花は涼やかに咲く

飯倉台 多部田佐智子

先代の長押の遺影に夫も入り一人となりてこの家を守る

内山 久古美智子

嵐去り澄みきる空を渡りゆく子鷺青鷺軽やかに舞う

長谷 宇野とし子

永年の飲酒喫煙止めし夫十年経ちて体快調なり

堀川 山本 伸子

穂じそ咲く落葉のうへの迷い猫狐独の私と目の目の会話

大寺 住母家みさほ

紅葉の御嶽山に魔の噴火若き命を数多奪えり

安久山 木下 ふさ

踏切に電車を待てば扉扉に人は蛙のごとくはりつく

八日市場イ 椎名 昭雄

川口 城司 推薦

予後のわれ日向ぼこりをして仰ぐ庭の留守居柿けさすてに無し

栢田 渡辺 重雄

記念館立てて特攻隊の悲惨さを語り継ぐとよフィリピンの人も

野手 石田 秀子

空模様みては初ほしし父母の苦勞思ほゆ今は乾燥機

今泉 小川みさ子

夫逝きて半歳の恩師道に逢へばわが手の怪我を案じ下さる

栢田 石田 治

青柿の色づく頃に新生活スタートするとカップルは告げる

堀川 石井 みい

出羽三山

大浦を歩く

出羽三山とは、山形県(出羽国)にある月山、羽黒山、湯殿山の三つの山の総称です。午年の今年、羽黒山午歳御縁年にあたることから、市内に残る「出羽三山供養塔」から信仰の足跡をみることにしましょう。

千葉県は、関東地方の中では出羽三山信仰が最も盛んな地域とされ、各地に結成された講の代表者が巡拝したとされています。

市内では調査の済んだ旧八日市場市域で、1781年から1863年までの間に12基の「出羽三山供養塔」が立てられたことが確認できます。



蓮花寺にたつ出羽三山供養塔

同村の江波戸市郎右衛門は1803年に、「先祖菩提」の供養と「家内安全」を祈って出羽三山供養塔と「西国・秩父・坂東供養塔」を立てました。おそらく自

供養塔は正面中央に「湯殿山」、左右に「月山」「羽黒山」とあり、講員の名前も刻まれています。出羽三山に加え「西国・秩父・坂東」の百観音霊場巡りも含めた供養塔もあります。

供養塔に刻まれた講員数は3人から50人ほどまでさまざまで、中には近隣2、3か村の人たちで同行を構成している例もみられます。これらに名を連ねた人たちは、村内では名主など富裕層だったのでしょう。

日本最古のミイラ仏として知られる弘智法印ゆかりの寺・大浦蓮花寺には、3基の出羽三山供養塔があります。

らの足でこれらを巡拝し、その記念碑として造立したのでしょう。

1813年には同村の江波戸、太田、椎名、鈴木、宮崎、勝股の12人で塔を立てており、この頃には「大浦講」が存在したのでしょう。それから50年後の1863年の供養塔には、講員も30人ほどに増え名とともに「大浦講」「案内」「先達 福姓坊」と刻まれている、毎年代参が行われていたとみられます。

市内では出羽三山への道中日記などはみつかっていませんが、『飯岡町史』に載る1843年の「奥三山袖日記」が当時の旅の様子を伝えてくれます。

それによると、現在の埼玉、群馬、長野、新潟県を通り、出発から1か月ほどかかって山形に。3日をかけて出羽三山を参拝したのち宮城・松島へ出て、そこから太平洋側の福島、茨城を経て帰郷した54日間にわたる長旅でした。それほどまでして信仰した人たちの祈りが、供養塔には込められているのでしょう。

(元 市職員・依知川雅一)
関秘書課広報聴班

☎73・0080

俳句

八木 佐久司 推薦

灯台の白に張りつく余寒かな
神無月帯きりきりと空手の子
猪独活の残花真白き寺領なる
冬浅し静まり返る千枚田
茶の花のほかりと白し荒島
葛紅葉我が学舎の今はなく
昂みつつ鶯の餅や鯛雲
落葉して空の近づく今朝の庭

八日市場ハ 西野 棠雨
八日市場ハ 大川 宣子
内山 椿 和枝
長谷 宇野とし子
若潮町 光瀬甲江子
飯高 安藤 建子
八辺 依知川きよ
横須賀 岩井 やす

川口 城司 推薦

川柳

高梨 果宝 推薦

月を食む闇に齒のありギラギラと
庭の草伸びるにまかせ秋深む

栢田 伊藤 定子
今泉 野仲 妙子

億の金夢みて並ぶくじ売り場
欲離れた時こそが世の別れ
無差別に欲求不満人を刺す
欲を出し儲話の刺を呑む
飽食の時代に生きて医者通い
欲の皮さけ出し出してる遺産分け
知識欲あっても脳が受け付けず
欲ばった宿バイキング食べ残し

飯高 林 サダ子
飯塚 鈴木ツネ子
木積 佐久間美智子
長谷 石毛惣一郎
東小笹 江波戸京子
八日市場イ 常世田やす子
八日市場ホ 大木波津恵
八日市場ホ 菱木 静枝

力作 募集中

あて先：匠瑳市秘書課広報聴班

〒289-1219

匠瑳市八日市場ハ793番地2

☎73・0080 FAX72・1114